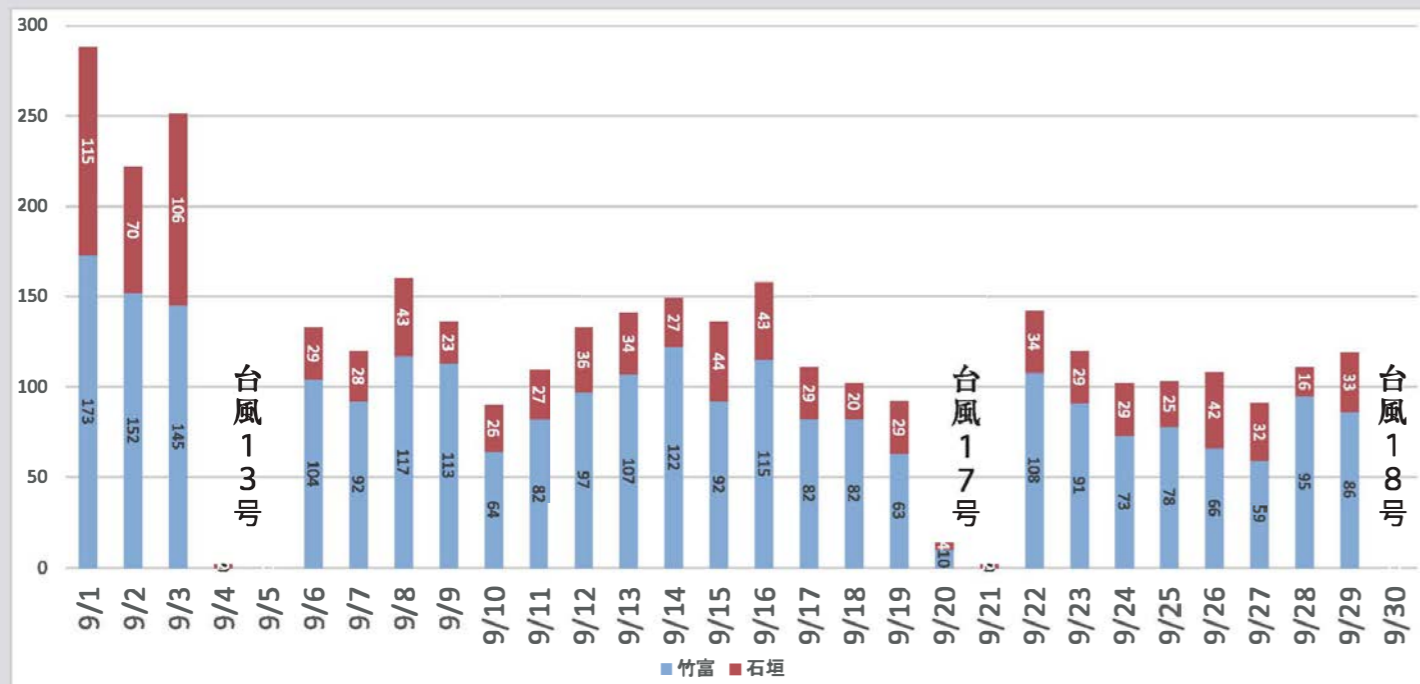


06 9月期入島料收受実績

收受開始1ヶ月間の入島料合計額は¥1,033,500 (3,445名) となりました。收受率としては10%強と考えられています。收受率UPのため、ご協力をよろしくお願いいたします。



御 礼

入島料の返礼品としてお渡ししている「染糸しおり」の糸通しに携わっていただいた多くの皆様ありがとうございました。

また草玩具を製作、提供して下さった

松竹昇助様、大山ミツ子様、島仲由美子様、高那弘子様、田中愛子様、内盛良枝様
 亀井保信様、森田美穂様、鈴木パネッサ様、狩俣まこ様、狩俣未来様
 仲筋婦人会の皆様、星のや竹富島の皆様

この場を借りて御礼を申し上げます。

理事長 上勢頭 篤



© Maehara Motoo

竹富島では、そんなに遠くない昔。
 あまり便利とは言えないけれど
 自然体で暮らせる心豊かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの。
 忘れてしまったものを取り戻すべく活動を進めてまいります。

01 入島料収受開始

令和元年9月1日。全国初の地域自然資産法に基づく入島料の収受が竹富島で始まりしました。それに伴い、ユーグレナ石垣港離島ターミナルで入島料収受開始セレモニーがおこなわれました。セレモニーには竹富町長、竹富公民館長、竹富町議長をはじめ、多くの方に参加していただきました。セレモニー終了後、参加者は入島券を購入し竹富島へ移動。竹富港ではサジを巻いた島民が歌と踊りで訪れた人たちを歓迎しました。多くの観光客とともに、浮棧橋は、竹富島独特の賑わいであふれていました。その後、町長たちには財団の活動の一環である防風林の再生活動として、フクギの植栽を実施していただきました。



竹富港でのお迎えにご協力いただいた皆様！ありがとうございました！！

02 前原基男写真展

入島料収受開始を記念し9月1日～10月3日の期間中、ユーグレナ石垣港離島ターミナルで前原基男写真展「100年後も残したい竹富島の暮らし」を開催。数多くの観光客や島民が写真パネルの前で足を止め竹富島の原風景に想いを馳せていました。



03 ゴミ箱の設置

財団の初めての環境保全活動となるゴミ箱の制作と設置を行いました。伝統的な組み木と茅葺き屋根を部分的に採用したゴミ箱で、松竹昇助さんに教わりながら手作業にて制作しました。



04 台風清掃（コンドイ浜）

台風18号後のコンドイ浜の清掃を行いました。あまりのひどい状況に公民館が清掃回収を決定。財団としてはお手伝いレベルの事しかできませんでしたが、トン袋6袋分のゴミを回収しました。



05 入島料チケットネーミング募集中

入島料収受開始にあたりスタートしたチケット名募集キャンペーン。多くの応募をいただいておりますが、まだまだ多くの応募をお待ちしております。採用されると松竹昇助作のアンツクや五香屋の大皿など素敵なプレゼントも。財団HPよりあなたが考える竹富島にふさわしいチケット名をご応募ください！

【財団HP】

<https://taketomijima.okinawa/>

竹富島 財団

